オリエンテーリングマガジン 2002年10月号

目次

表紙	木村佳司	表紙
目次	編集部	表2
王者は京葉OLC！（クラブカップ2002）	木村佳司	1-2
紺野大健闘！ ユニバーシアードブルガリア	尾上秀雄ほか	3-5
ジュニア世界選手権2002	尾上秀雄	6-9
MTB-O世界選手権	大北洋平	10-12
オリエンテーリングエクスプローラ	佐々木順	12
とっても素敵なAPOC	深沢博子/皆川美紀子	13-15
世界は今	村越 真	16
この夏のニュースを求めて	村越 真	17
総合学習としてのオリエンテーリング	武石雄市	18-19
今地方のオリエンテーリングは	武石雄市	20-21
KOLAナイトO	横田 実	22
松澤俊行のオリエンテーリング道場	松澤俊行	23
パーマネントコースレポート	大高竜亮	24-25
OLとの離別と再開	佐藤綱一	26
加盟員が6割減・日本学連	米本路憲	27-29
ローラースキー合宿	内山孝博	29
半月板の手術をしました	上林弘敏	30-31
スコードからのお知らせ	SQUAD	32
ゆきとじいじいのオリエンテーリング	武石雄市	33-34
オリエンテーリングの本の紹介	村越 真	35-36
Fast Life, Slow Life	村越 真	37-39
マレーシアの森	深山泰利	40-41
イチオシイベント 全日本大会	笛木	41
オリエンテーリングガイド	小野盛光	42-48
Silva広告	Silva	表3
マガジン継続のお知らせ	編集部	表4

オリエンテーリングマガジン
2002年10月号

発行日：2002年9月10日
発行　：オリエンテーリングマガジンプロジェクト（村越 真・小野盛光・木村佳司・武石雄市・横田実・佐々木順・山本英勝・森岡裕起）
編集　：木村佳司
印刷　：小野盛光
表紙　：木村佳司

編集者より

今年もクラブカップの運営を行いました。日本最大規模の1000人イベントにも関わらず、コア運営者は約10名、当日のお手伝いを入れても20名という極少人数の運営です。毎年不思議なのですが、何とかなるものなのですね。いや、何とかするためにいろいろと工夫をしているというべきでしょうか。

クラブカップでは専任運営者が非常に少ないため、最近は会場で会場中継アナウンサー（スピーカー）をやっています。事前データなど調べるヒマも余裕もなく、それでも何とかこなしています。エントリリストを片手に、リスト最終コントロール周辺に集まってランナーを待つ各クラブの人たちから情報を仕入れ、自分の時計ひとつで実況中継です。

リレーの中継ではライブ感が重要です。各種のデーターも重要ですが、それはあくまでオマケ。やはりライブ感が第一です。ナマで実況中継し、ナマでランナーやサポーターの声を中継する。今年は充分できたかな？いやぁ、まだまだってところかな。

毎年、会場放送をやっているので、いちおうBGMも用意してゆきます。どれだけ使用するかはその時次第というところ。

今年は「鬼束ちひろ」、「おさかな天国」、「ミニモニ」のCDを用意。昨年は「倉木麻衣」。2年前は「小柳ゆき」。

クラブカップが近くなるとそんなことも考えて、CDショップに行ったりします。これもまた楽しいもの。

このような堅苦しくないやりかたが極小人数のクラブカップ運営を可能にしているのだろうと思います。

クラブカップでは、インターネットのサイトは楽しんで作る。フラッグ設置で森と地図を楽しむ。会場放送は楽しくやる。I-modeサイトだって、帰りの車の中でこれを見る参加者を想像しながらニヤニヤと作る。会場の写真を撮りまくって報告webページを作る。もう、やりたい放題。
イベントは楽しくやる。これが大事。

（木村佳司）